

【経営指標】

【計画】							【実績】			
指標の分類		指標の意味	R7年度末	R8年度末	R9年度末	R10年度末	R7年度末	R8年度末	R9年度末	R10年度末
経営指標										
算出式										
経営の健全性・効率性										
経常収支比率（％）		「経常損益」：料金収入や一般会計からの繰入金等の総収益で、総費用に地方債償還金を加えた費用をどの程度賄えているかを表します。	115.62	112.97	110.98	109.41	118.60			
＝ 経常収益額÷経常費用額×100										
流動比率（％）		「支払能力」：1年以内に支払うべき債務に対して支払うことができる現金等がどの程度あるかを表します。	148.52	121.91	127.34	126.80	171.36			
＝ 流動資産÷流動負債×100										
企業債残高対事業規模比率（％）		「債務残高」：料金収入に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表します。	343.73	324.54	307.18	292.31	341.25			
＝ (企業債現在高－一般会計負担額)÷(営業収益－受託工事収益－雨水負担金)×100										
経費回収率（％）		「料金水準の適切性」：使用料で回収すべき経費について、どの程度使用料で賄えているかを表します。	124.79	119.79	116.22	114.01	130.57			
＝ 下水道使用料÷污水处理費(公費負担分を除く)×100										
污水处理原価（円）		「費用の効率性」：有収水量1㎡当たりの污水处理に要した費用であり、汚水資本費・汚水維持管理費の両方を含めた污水处理に係るコストを表しています。	144.33	150.26	154.75	157.94	137.80			
＝ 污水处理費(公費負担分を除く)÷年間有収水量×1000										
施設利用率（％）		「施設の効率性」：施設・設備が一日に対応可能な処理能力に対する、一日平均処理水量の割合を表しています。	63.14	63.08	63.22	69.48	61.46			
＝ 晴天時1日平均処理水量÷晴天時現在処理能力×100										
水洗化率（％）		「使用料対象の捕捉」：現在処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して污水处理している人口の割合を表しています。	98.40	98.40	98.50	98.50	98.43			
＝ 現在水洗便所設置済人口÷現在処理区域内人口×100										
老朽化の状況										
有形固定資産減価償却率（％）		「施設全体の減価償却の状況」：有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表しており、施設の老朽化度合いを示しています。	38.91	40.00	41.50	42.96	40.70			
＝ 有形固定資産減価償却累計額÷有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿価格×100										
管渠老朽化率（％）		「管渠の経年化の状況」：法定耐用年数を超えた管渠延長の割合を表しており、管渠の老朽化度合を示しています。	5.15	5.61	6.10	6.70	5.07			
＝ 法定耐用年数を超過した管渠延長÷下水道布設延長×100										
管渠改善率（％）		「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」：当該年度に更新した管渠延長の割合を表しており、管渠の更新ペースや状況を把握できます。	0.07	0.18	0.05	0.05	0.07			
＝ 改善(更新・改良・維持)管渠延長÷下水道布設延長×100										